

第4・5学年 総合的な学習の時間 学習指導案

日 時 平成26年10月7日（火）公開授業2
場 所 4・5年教室
学 級 4年 男子3名 女子2名 計5名
5年 男子4名 女子2名 計6名
指導者 菅原 一季

1 単元名「江刺家のお米をアピールしよう！」

2 単元について

(1) 教材について

本校では、毎年地域の方や保護者の協力のもと、稲作体験学習を行い、種まきから脱穀までの作業を学年で分担しながら体験している。

本単元では、お米について調べる活動や、販売体験活動を行う中で、友だちと協力して活動するとともに、お米作りに関わる人たちの工夫や苦勞・喜びに気づき、自分の考えを広げることがをねらいとしている。調べたことをまとめる際には、グループで共通の目標をもち、協力して取り組む良さを学ぶことができる。また、単元の最後に行う販売体験活動では、考えた取り組みを地域に出て実践することで、児童が達成感を持つことができる。

(2) 児童について

本学級は、4・5年生の複式学級である。本校は、毎年稲作体験に手作業で取り組んでいる。そのため、児童は全ての作業を今までに一度は体験している。しかし、それぞれの作業の意味や、あえて手作業で取り組む理由について、十分に理解しているとは言えない。また、自分達がつ作っているお米の品種やその特徴、流通についてなどについても、理解していない部分が多い。

1学期の総合的な学習の時間では、折爪岳の生き物について調べ、調べたことを表現する場として「折爪岳の生き物展」を実施した。生き物展を実施するにあたり、各グループで取り組む工夫について話し合う活動を行った。しかし、一人の児童が話し合いを進めてしまうグループやリーダー不在で意見がまとまらないグループなどが見られ、話し合いがうまく進んだとは言いがたい。また、一人一人が自分の意見を持つことはできたが、うまく理由を説明することができない児童も多かった。その他にも、友達とうまく関われない児童が数名見られる。些細な原因で喧嘩を起し、ちょっとしたことで相手を責めてしまうため、なかなか友だちと協力することができない場合もある。

これらの課題を解決するために、お米についての調査・表現活動に取り組むとともに、グループでの話し合いや共同作業を多く取り入れ、協力して活動する関わり合いを大切にして進めていく。

(3) 指導について

本単元は、お米の実態について調べる第1次、調べて分かったことを表現する第2次、収穫したお米を販売する第3次で構成している。

第1次では、全国的にお米の消費量が減少している事実を知り、その原因や九戸村での実態について疑問や課題意識をもたせる。調査活動では、本やインターネットだけでなく、地域の方の話を聞くなどして、様々な方法で情報を収集していく。また、調べる内容はお米についての一般的な情報だけでなく、本校の稲作体験についても関連付けながら調べるようにする。

第2次では、お米について調べたことを分類・整理し、グループごとに収穫祭で発表を行う。調べたことの中から何を伝えるのか、グループごとに話し合わせ、決定していく。調べたことを表現する際には、今までの学習経験を生かし、多様な方法から選択できるようにする。

第3次では、収穫したお米を地域の物産館で販売する。販売活動をする前に、お客さんにお米の良さを伝えるための工夫を考え、グループごとに実践する。単元全体のまとめでは、お米に関する様々な活動を振り返り、これからのお米との関わりについて、自分の考えをもたせたい。

3 仮説との関わり

お米についての調べ学習の際には、稲作体験活動で田を提供してくださっている地域の方やお米の良さをよく知る栄養教諭、また本村の稲作の実態をよく知る役場の方などの話を聞き、地域人材を活用し、意欲化を図りたい。

また、単元を通して児童同士が関わり合う場を意図的に組み込み、ペアやグループでの話し合いを多く取り入れる。関わり合いを通して、自分の意見を持つことや相手の意見を聞くこと、協力して活動する態度を学ばせたい。第2次では、グループごとに発表内容や方法について、ピラミッド図を用いた話し合いを行って選択させ、その根拠を明確にして結論を出せるようにする。

第2次で調べたことを収穫祭で発表したり、第3次で販売体験活動でお客さんにお米の良さを伝えるための工夫を考えたりする際には、児童の今までの学習経験を生かし、目的に応じて様々な方法や工夫から選択し、資料を作成させたい。

第3次での販売体験活動でも、地域の物産館の方の協力をいただき、地域人材を活用する。

4 単元目標

(1) 総合的な学習の時間の単元目標

稲作体験活動やお米についての調査活動、販売活動など、友だちと協力して追究する活動を通して、お米作りに関わる人たちの工夫や苦勞・喜びに気づき、自分の考えを広げる。

本単元で身に付けたい資質や能力及び態度

| |
|--|
| <p>[学習方法に関すること]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な方法を使って調べ活動を行い，情報を収集する。 ・相手や目的に応じて分かりやすくまとめ，表現する。 |
| <p>[自分自身に関すること]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標を設定し，課題の解決に向けて行動する。 ・調べたことの中から，自分が伝えたいことを決定する。 ・自らの生活の在り方について見直す。 |
| <p>[他者や社会との関わりに関すること]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な考えや意見を受け入れる。 ・グループで協力して課題を解決する。 |

(2) キャリア教育の目標

- ・自分の意見を持ち，友だちの意見と比べながら聞く。
- ・自分の考えや思いを，理由を明らかにして伝える。
- ・グループで役割分担をし，協力して共同作業を行う。
- ・相手の立場に立ってよく考え，優しさを持って行動する。

5 単元の評価規準

| | 学習方法に関すること | 自分自身に関すること | 他者や社会に関すること |
|------|---|--|---|
| 評価規準 | <ul style="list-style-type: none"> ・お米の特徴について，様々な方法を使って調べ活動を行い，情報を収集している。 ・グループごとに工夫をしながら，お米について分かったことをまとめ，相手意識を持って表現している。 ・お客さんに向けて，お米の良さを伝えるための工夫を考えている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・お米の実態について知り，今後の活動への課題をもっている。 ・お米の特徴について調べたことを整理・分類し，自分が伝えたいことを決定している。 ・今までの活動を振り返り，今後のお米を通じた地域とのかかわりについて考え，自分の考えをもっている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・友だちや地域の方と関わり合い，様々な考えや意見があることに気付いている。 ・グループで意見を出し合いながら，収穫祭で伝えることや伝える方法について話し合い，伝えることを決定している。 ・決定した工夫について，グループで協力しながら準備に取り組み，実践している。 |

6 指導計画（25時間）

| 次 | 活動のねらい | 時数 | 主な活動 | 評価規準 |
|--------|---|----------------|---|---|
| 1 次 | <p>○お米の調査をしよう</p> <p>・お米の実態について関心を持ち、課題意識をもつとともに、課題を解決するために様々な方法で取材活動を行うことができる。</p> | 8 | <ul style="list-style-type: none"> ・全国的にお米の消費量が低下してきていることを知り、その理由を考えたり、九戸村の状況を予想したりしながら、学習意欲をもつ。(1) ・お米についての疑問点を挙げ、自分が調べる課題を決定し、課題ごとに大きく3つのグループに分ける。(1) <ul style="list-style-type: none"> 「お米の特徴・良さ」グループ 「九戸村の稲作」グループ 「江小のもち米作り」グループ ・調べたいことを、グループで話し合い、調査メモを作る。(1) ・本やインターネットを使って、調査を行う。(2) ・地域の方や役場の職員、栄養教諭から、お米・稲作についての話を伺う。(2) ・調べたことから、自分の考えをまとめる。(1) | <ul style="list-style-type: none"> ●お米の実態について興味を持ち、意欲をもって学習しようとしている。 <ul style="list-style-type: none"> 【自分自身に関すること】 ●お米について、様々な方法を使って取材活動を行っている。 <ul style="list-style-type: none"> 【学習方法に関すること】 ●取材の結果をもとに、分かったことをまとめ、自分なりの考えをもっている。 <ul style="list-style-type: none"> 【学習方法に関すること】 |
| 2 次 | <p>○お米について発表しよう</p> <p>・グループごとに調べたことを整理し、発表の内容や方法について話し合い、発表を行うことができる。</p> | 9 本時 2/9 | <ul style="list-style-type: none"> ・調べたことを収穫祭で発表する計画を立て、グループごとに、調べたことを整理する。(1) ・グループごとに、収穫祭で何を伝えたいか、伝える内容について話し合う。(1 本時) ・グループごとに相手によく伝わる発表方法を話し合い、決定する。(1) ・グループごとに工夫しながら発表の準備や練習を行う。(4) ・他のグループと、発表を見せ合い、発表内容の改善を行う。(2) <p>※収穫祭での発表を行う。(学校行事)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ●グループで意見を出し合いながら、収穫祭で伝える内容や伝える方法について話し合っている。 <ul style="list-style-type: none"> 【他者や社会に関すること】 ●グループごとに工夫をしながら、分かったことをまとめ、協力して表現している。 <ul style="list-style-type: none"> 【学習方法に関すること】 |
| 3 次 | <p>○江小のお米を販売しよう</p> <p>・お米の販売計画を立て、お客さんに江小のお米の良さを伝える工夫を考え、販売活動を行うことができる。</p> | 8 | <ul style="list-style-type: none"> ・お米販売までに必要なことを話し合い、計画を立てる。(1) ・お客さんにお米の良さを知ってもらうための販売の工夫について、グループごとに方法を考え、準備をする。(4) ・地域の物産館で、収穫したもち米の販売活動を行う。(2) ・学習の振り返りを行い、地域や稲作とのかかわりについて、自分の考えをもつ。(1) | <ul style="list-style-type: none"> ●販売をする際の工夫を考え、話し合っている。 <ul style="list-style-type: none"> 【学習方法に関すること】 ●グループで協力しながら、決定した工夫に取り組んでいる。 <ul style="list-style-type: none"> 【他者や社会に関すること】 ●今までの活動を振り返り、今後の地域とのかかわりについて考えている。 <ul style="list-style-type: none"> 【自分自身に関すること】 |

7 本時の学習

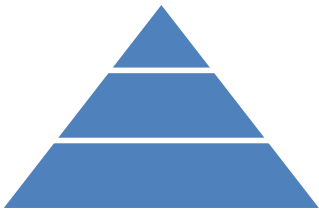
(1) 目標

収穫祭でお客さんに伝える内容について、根拠を明確にして自分の意見を持ち、グループで話し合うことができる。 【他者や社会に関すること】

(2) キャリア教育に関わる目標

話し合いの際に、根拠を明確にして自分の意見を伝えることができる。

(3) 展開 (10 / 25)

| 段階 | 学習活動 | 指導上の留意点 (●評価) |
|--------------|--|---|
| 導入 5分 | <p>1 前時までの学習活動を振り返り、収穫祭に来てくれた人に、お米について調べたことを発表することを学級で再確認する。</p> <p>2 本時の学習課題を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>グループで意見を出し合い、収穫祭で伝える内容について話し合おう。</p> </div> | <ul style="list-style-type: none"> ・収穫祭で、お米について調べたことや江小の米作りについて伝えることを確かめる。 ・収穫祭に来てくれる地域の方や保護者を想起させ、相手意識をもたせる。 ・前時までに調べてきた内容を全て発表するのは難しいことを確認し、発表内容を選択することを伝える。 |
| 展開 | <p>3 グループで話し合い、収穫祭で伝える内容を決定する。</p> <p>(1) 話し合いの手順を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>①ピラミッド図の下段に貼ってある「ふせん紙」の中から、収穫祭で伝えるとよい内容が書いてある「ふせん紙」を2つ選び、ワークシートに書く。</p> <p>②ワークシートを出し合い、分類・整理して中段に移す「ふせん紙」を決める。(下段より中段の「ふせん紙」が少なくなる。)</p> <p>③グループで決めた「ふせん紙」を中段にうつす。</p> <p>④中段の「ふせん紙」の中から、一番伝えたいものを1つ選び、選んだ理由をワークシートに書く。</p> <p>⑤ワークシートを出して読み合い、お互いの考えを理解して分類・整理・順位を付けて上段に移す「ふせん紙」を決める。</p> <p>⑥グループで決めた「ふせん紙」を上段にうつす。</p> </div> | <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの手順表を用意し、話し合いを自分達で進められるようにする。 <div style="text-align: center; margin: 20px 0;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> ・上図のようなピラミッド図を、ミニホワイトボードに書いておく。このホワイトボードの下段に「ふせん紙」を貼り、その「ふせん紙」を上に移動させることで順序付けをする。 ・「ふせん紙」には、前時までに調べてきた内容が項目で書かれている。 ・「ふせん紙」を選び、移動させる場合、ワークシートに個人の考えを書かせ、全員が意見を持って話し合いに参加できるようにする。 |

| | | |
|-------|---|---|
| 30分 | <p>(2) 手順の①～③までの活動を、リーダーを中心に話し合う。</p> <p>(3) 中段に移した「ふせん紙」を使って、手順の④～⑥までの活動を、リーダーを中心に話し合う。</p> <p>話し合いが終わったグループ</p> <p>①決まったことをワークシートに書く。 ②決まったことを発表する人を決める。 ③がんばっていた友だちをワークシートに書く。 ④グループ内で、発表の練習をする。</p> <p>(4) グループごとに、ピラミッド図を使って決まったことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「お米の特徴・良さ」グループ ・「九戸村の稲作」グループ ・「江小のもち米作り」グループ | <p>「関わりを支える資料」・・・仮説(2) 今までに調べたことを、項目ごとに書いたふせん紙 調べたことの中から、自分たちが伝えたいことを選べるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中段に移す「ふせん紙」を決める場合、ワークシートに書かれた考えを読み合ってから分類・整理させる。 ・意見を発表するのが難しい児童には、ワークシートを手がかりにすることを伝える。 <p>「関わる活動」・・・仮説(1) 収穫祭での発表内容について話し合う 相手の意見を聞く 自分の意見をしっかりと伝える 協力して活動する</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自分の意見を、理由を明らかにして、相手に伝えることができたか。 【キャリア】 ●伝えたい内容を考えながら、協力して話し合うことができたか。 【他者や社会に関すること】 <ul style="list-style-type: none"> ・ピラミッド図に貼ってある「ふせん紙」を使って各グループで話し合われた内容を発表させる。 ・迷った時は、ワークシート見てもよいことを伝える。 |
| 終末10分 | <p>4 本時の学習を振り返る。</p> <p>(1) グループの話し合いで、がんばっていた友だちをワークシートに書く。</p> <p>(2) お互いの頑張りを認め合う。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・名前を出して、良かったことを具体的に書くとよいことを伝える。 ・認め合いのあとに、次時の活動を伝える。 |

(4) 評価規準

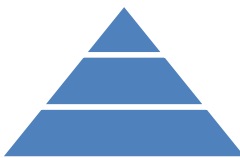
| おおむね満足できる (B) | 支援 |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・収穫祭で伝える内容について、根拠を明確にして自分の意見を持ち、グループで話し合っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・発表内容を選べない児童には、「お客さんに一番伝えたいことはどれか。」と声をかけ、選択させる。 ・選んだ内容の根拠を書けない児童には、「なぜ、それを知らせたいのか。」という理由を考えさせる。 ・活動が停滞した場合は、何のために発表をするのかについて、全体で再確認をする。 ・話し合いの際に自分の意見をうまく言えない児童には、ワークシートに書いたことを根拠として用いればよいことを伝える。 |

8 板書計画

グループで意見を出し合い、収穫祭で伝える内容について話し合おう。

発表を通して地域の方やお家の人に・・・

- ・お米の良さを知ってもらいたい。
- ・お米を好きになってもらいたい。
- ・九戸のお米の実態を知ってもらいたい。



活動の手順

進捗表

9 フロア計画

